



今井 顕

Akira Imai

Piano Recital

PROFILE

1954年生まれ。私立武蔵高校在籍中にそれまでの進路を突然変更して渡欧、クラシック音楽界における世界有数の名門校、ウィーン国立音楽大学に16歳で入学する。8年間の課程をわずか3年で修了し、早くも19歳の時に最優秀の成績で卒業。数々の国際コンクールにおける栄誉をたずさえ、コンサートピアニストとして国際的な活動を開始。その後ウィーン国立音楽大学ピアノ専攻科における日本人初の指導者として抜擢され、数多くのピアニストを育成した。通算24年におよぶヨーロッパ滞在中の音楽分野における業績と尽力とに対し、オーストリア政府より名誉教授の終身称号を授与される。楽譜、書籍などの出版物も数多く、国際コンクールの審査員として招聘されるなど、日本の誇る国際派ピアニストとして内外で高い評価を受けている。国立音楽大学名誉教授、宇都宮短期大学音楽科客員教授、全日本ピアノ指導者協会評議員。



オフィシャルサイト
<http://atwien.com/>

PROGRAM

J. S. バッハ (今井顕編曲)

G線上のアリア

F. シューベルト

ソナタ第18番 ト長調 《幻想》 D894

Molto moderato e cantabile (ゆったりと、歌の呼吸を大切に)

Andante (落ち着いて)

Menuetto: Allegro moderato (メヌエット: 快活ながら速すぎず)

Allegretto (のどかにのびのびと)

(演奏時間: 約42分)

～ 休憩 ～

F. シューベルト

ソナタ第21番 変ロ長調 D960

Molto moderato (ゆったりと落ち着いて)

Andante sostenuto (長い息づかいで流れるように)

Scherzo: Allegro vivace con delicatezza (スケルツォ: 繊細な快活さとともに)

Allegro, ma non troppo (快活に、しかし急ぎすぎないように)

(演奏時間: 約47分)

使用ピアノ: ベーゼンドルファー Model 290 インペリアル

調律: 照沼 純